

1990 (毎月1回)

11月号

(村の面積)
332.60km²

発行 福井県大野郡和泉村

広報 いずみ

(平成2年11月1日現在)

村の人口	899人
総人口	899人
男	442人
女	457人
出生	2人
死亡	0人
転入	0人
転出	6人
世帯数	304世帯



奥越マラソン和泉大会

813人健脚競う

十月十四日、九頭竜国民休養地をスタート・ゴールとした第十回奥越マラソン和泉大会が開催されました。

朝からあいにくの雨模様だったが、受け付けが始まった午前八時三十分から参加者が続々と詰め掛け、この大会より新設されたファミリーの部の八十五組百七十人など合わせて八百十三人が、県内外より受け付けを済ませました。

開会式は午前十時三十分から始まり新井村長のあいさつに続いて、和泉中学校の鈴木昌彦君と吉岡由紀さんが元氣いっぱいの選手宣誓をし、午前十一時二十分、一般男子二十キの部を皮切りに各部二、三、十、十キ、五の順に、小学生からお年寄りまで、思い思いのペースで健脚を競いました。

また、第十回大会を記念して和泉村出身のタレント、清水国明さんが激励に訪れ、二ファミリーの部など二コースでバイクに乗り先導役を務めたり、トークショーで大会を盛り上げるなど、参加者を楽しませていました。

みんなで越美北線を利用しよう

「秋があつて よかつたね」 九頭竜紅葉まつり開催

第十一回九頭竜紅葉まつりが十月二十七日、二十八日の両日、九頭竜国民休養地を会場に開かれました。

すっかり色付いた山々をバックに多彩なイベントが繰り広げられ、大勢の観光客でにぎわいました。

一日目は冬型の気圧配置に包まれ、あいにく雨の肌寒い一日となりましたが、会場入り口の歓迎ゲートでテープカット、ステージで開会式が行われ、吉村実行委員長、新井



▶家族連れらがどっと訪れにぎわった紅葉市場

村長らのあいさつに続き、ミス紅葉の表彰式があり、かすり着物姿の三人のミス紅葉が披露されました。

会場は、おなじみの紅葉市場やきこ茶屋が店開き、球技場では、ゲートボール大会が、夜は村社会教育福祉総合センターの体育館にて穴馬おどり大会が盛大に開催されました。

二日目は、朝からさわやかな秋晴れが広がり、紅葉に誘われた家族連れらがマイカーの特産の穴馬かぶらいかがですか……



や列車で続々と詰め掛け、正午前には人出のピークとなり会場周辺の駐車場や道路は車の長い列で混雑しました。

会場では、特産の穴馬かぶらやマイタケ、地場野菜、木工品などの特産品を買い求める人や、きのこご飯、山菜おこわ、山菜そば、穴馬スイートコーンなど旬(しゅん)の味に舌鼓を打つ大勢の人たちでにぎわっていました。

このほか、コンサートや伝統芸能「昇竜太鼓」のステージ、恒例となった丸太切り大会は黒山の人だかりとなり、観光客は深まりゆく秋の一日を楽しんでいました。



▶あまさばつぐりん
売れ行きばつぐりん
穴馬スイートコーン

▶熱戦(丸太切り大会)のこぎりをひく手に汗



穴馬おどり大会に 外人さん参加!

第十一回九頭竜紅葉まつり各種催しの成績は次の通りです。

さん(フランス)、三位は矢木節子さん(金沢市)、努力賞に森永節子さん(大野市)

〈仮装の部〉

一位は曾賀真由美さんチーム(白鳥町)、二位はジェラル・ルグリさん(フランス)、三位は中村真由美さんチーム(和泉村)

第九回紅葉杯争奪ゲートボール大会(四十八チームが参加)優勝は今立町の西庄境チーム(仲谷昌久監督)、二位は北四ツ居Bチーム(福井市)三位は亀山Aチーム(大野市)敢闘賞は大島クラブ(福井市)

穴馬おどり大会

〈おどりの部〉

一位は東 毅さん(和泉村)二位はエリザベス・コアンヌ

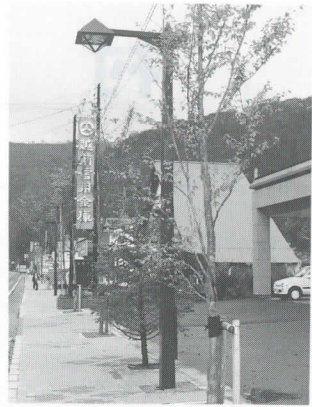
第二回紅葉杯争奪丸太切り大会(十チームが参加)優勝は岩泉チーム(勝山市)、二位は小林三之助商店Cチーム(白鳥町)、三位はファイヤーマンチーム(大野市)



▶雨の中、苦労さまでしたゲートボール大会

街路灯が完成

JR九頭竜湖駅周辺



設置された街路灯

設置されています。

街路灯は、鉄骨性で、高さが四尺二百ワの水銀灯が入っており、センサーにより自動点灯。午後九時以降は百ワにコントロ

平成二年度ふるさとむらおこし事業により整備を進めてきました、朝日の国道一五八号線沿いの街路灯が完成し、このほど点灯を開始しました。

ールされる仕組みになっています。工事費は三千二百万円

設置してあるのは、信号機のある交差点から九頭竜スキ一場の入り口の約八百ワの区間。歩道の両側に約三十五ワ間隔で千鳥状に四十五基が建

JR九頭竜湖駅周辺は、観光面のイメージアップを図るため、シンボルロードとして整備を進めているもので、元年度において、街路灯(ブナの木)、百五本が植栽済みです。

青葉の笛づくり

穴馬踊りに友好の和

||ECUウィークイン和泉||

「ふくいECウィーク」の地域交流事業のひとつ、フランスの子供達と地元の子供達との交流会が去る、十月二十七日、二十八日の両日、中央公民館にて開かれました。

訪れたのは、東京のフランス学校に通う少年、少女九人とその家族合せて十五人で、地元からは同年代に当る小学校五、六年生十一人が参加しました。

交流会では、意見交換やレクリエーション、青葉の笛づくりに友好の和が広がるなど、言葉の違いにとまどいを感じながらも、親睦を深めて

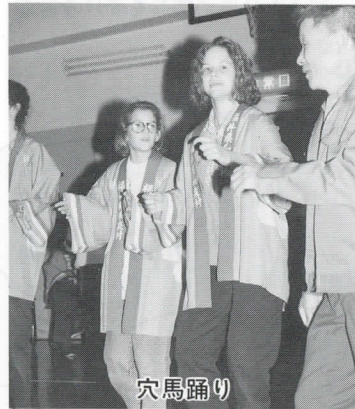
交流会では、意見交換やレクリエーション、青葉の笛づくりに友好の和が広がるなど、言葉の違いにとまどいを感じながらも、親睦を深めて

いました。

夜は、同公民館での歓迎夕食会、穴馬踊り大会参加の後六軒の家に分かれてホームステイを体験しました。



青葉の笛づくり



穴馬踊り

“きのこのことふれあい”

体験学習会開催

きのこ狩り体験学習会が実施されました。

村内で採取したキノコの種類を見る受講生



十月十八日、きのこについて知識を深めてもらう第三回

今年、県内各地はもとより愛知、岐阜県などから五十人が参加し、午前中、村社会教育福祉総合センターで、県林業技術専門員の笠原英夫さんによるきのこの基礎知識について、スライドや写真を使い食用、非食用の見分け方や生態、採取についての講義と県奥越農業改良普及所の酒井登代子さんの指導で「きのこご飯」「きのこ汁」など、きの

こを使った調理実習が行われ受講生全員で試食しました。午後からは、村特産物振興会林業研究グループのメンバーの案内により九頭竜ダム上流の下半原で採取実習が行われ受講生らはシメジ・ホウキダケ・ハツタケなどのきのこ約七十種を採取し、早速、毒の有無や、種類を確かめながらきのこ狩りを楽しみました。最後に受講生に修了証が授与され、好評のうちに学習会が終了しました。



村 の 台 所

歳 入 2,030,975千円

地方交付税	970,656千円	47.8%
村 債	345,900千円	17.0%
村 税	203,735千円	10.0%
国庫支出金	169,893千円	8.4%
県 支 出 金	167,069千円	8.2%
諸 収 入	60,864千円	3.0%
財 産 収 入	53,349千円	2.6%
繰 越 金	19,924千円	1.0%
地 方 譲 与 税	13,086千円	0.6%
自動車取得税交付金	9,968千円	0.5%
使用料及び手数料	9,744千円	0.5%
分担金及び負担金	3,799千円	0.2%
利子割交付金	2,988千円	0.1%

歳 出 1,971,634千円

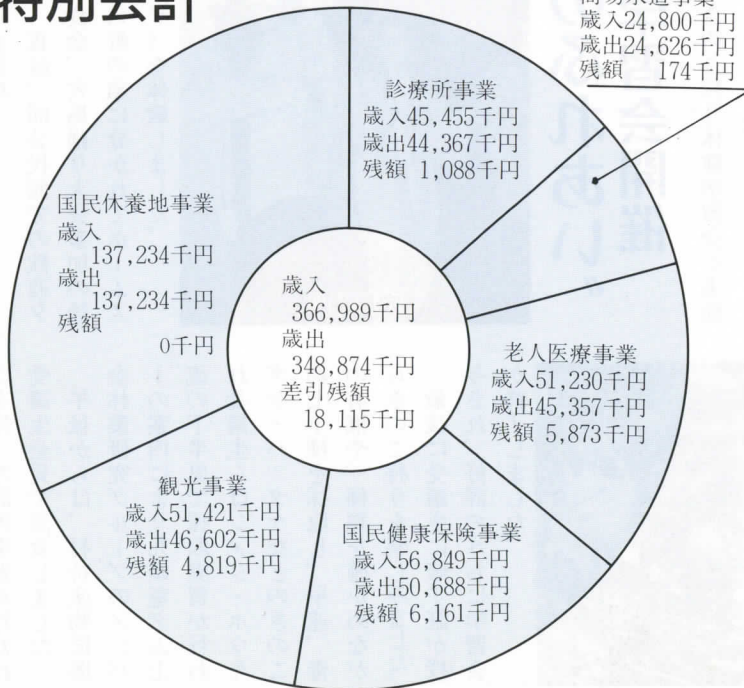
土 木 費	531,917千円	27.0%
農 林 水 産 業 費	287,955千円	14.6%
総 務 費	284,234千円	14.4%
商 工 費	230,574千円	11.7%
公 債 費	209,188千円	10.6%
教 育 費	133,181千円	6.8%
民 生 費	78,699千円	4.0%
災 害 復 旧 費	73,671千円	3.7%
衛 生 費	69,668千円	3.5%
議 会 費	38,118千円	1.9%
消 防 費	34,011千円	1.7%
労 働 費	418千円	0%

一 般 会 計

自主財源——村が自らの手で徴収または収納できる財源
 依存財源——国または県の関与を受ける財源

差引残額 59,341千円

特別会計



村民の暮らしを支える大切な村の台所はどうなっているか、村民の税金や国・県からきたお金はどう使われたか、村財政の状況をお知らせします。

平成元年度の一般会計は、差引残額五九、三四

一千万円と黒字になりましたが、この黒字額の中には、翌年度へ繰越すべき財源六二八千円があり、これを差し引いた実質収支は五八、七一三千円の黒字となっています。

平成元年度決算

平成元年度における主な事業の内訳

(単位：千円)

款	事業名	事業費	財源内訳				備考
			国県 支出金	起債	その他	一般 財源	
総務費	バス購入事業	8,343				8,343	29人乗
民生費	生活安定資金貸付事業	12,000			12,000		越前信用金庫 10,000 労働金庫 2,000
衛生費	ゴミ収集車購入事業	5,789	5,220			569	更新
農林 水産業費	農村基盤総合整備事業	62,620	40,610	18,400		3,610	農村公園
	県単土地改良事業	3,500	1,050			2,450	川合、板倉
	ふるさと村おこし事業	50,526	25,263			25,263	ステージ、シンボルロード 4トントラック
	県単林道改良事業	13,639	4,800			8,839	谷山線外2路線
	環境林整備事業	20,011	12,006			8,005	角野
	林業構造改善事業	50,194	35,092	14,700		402	春木谷線開設
商工費	コミュニティー助成事業	1,903			1,900	3	幟・法被
	温泉堀削事業	19,467				19,467	
	商工振興資金貸付事業	20,000			20,000		
	商工観光施設設備整備資金貸付事業	20,000			20,000		
	紅葉まつり推進事業補助金	3,500				3,500	
	スキー場立木補償事業	47,426				47,426	
土木費	県道等改良事業負担金	28,549				28,549	
	除雪機械整備事業	19,950		19,700		250	更新
	道路新設改良事業	417,770	144,024	254,200	1,122	18,424	蛇鏡線外3路線
	橋りょう新設改良事業	10,443				10,443	小谷橋
	河川改修事業	17,172		3,100		14,072	寺谷川
教育費	和泉中CAI導入事業	13,878	5,584			8,294	コンピューター15台
	朝日小プール濾過装置整備事業	2,171				2,171	
水道会計 休養地会計	簡易水道改修事業	6,304				6,304	貝皿・上大納
	便所水洗化事業	6,530				6,530	
	オートキャンプ場整備事業	5,000		4,800		200	

平成二年国調人口は八四六人

五年に一度の国勢調査も皆
 様のご協力により、無事に調
 査を終えることができました。
 ご協力ありがとうございました。

前回（昭和六十年）調査に比
 べて、世帯数で一四四世帯、
 人口で三四六人が減少しまし
 た。

今回の調査では、世帯数が
 二九六世帯、人口八四六人と
 なお、地区別世帯数及び人
 口は、別表のとおりです。

平成2年国勢調査 地区別人口及世帯数

地区名	H2年 世帯数	S60年 世帯数	60年と の比較	H2年人口			S60年人口			S60年との比較		
				男	女	計	男	女	計	男	女	計
朝日前坂	3	3	0	2	4	6	4	5	9	△2	△1	△3
角野前坂	3	4	△1	4	3	7	4	5	9	0	△2	△2
後野	13	14	△1	17	15	32	18	14	32	△1	1	0
貝皿	12	12	0	22	21	43	23	22	45	△1	△1	△2
川合	21	20	1	33	30	63	34	30	64	△1	0	△1
朝板	148	124	24	187	195	382	178	189	367	9	6	15
倉野	8	9	△1	17	17	34	13	12	25	4	5	9
角下	10	8	2	10	11	21	8	12	20	2	△1	1
山下	26	28	△2	42	58	100	49	57	106	△7	1	△6
下大納	6	6	0	6	6	12	6	6	12	0	0	0
上大納	32	39	△7	46	61	107	51	70	121	△5	△9	△14
中竜	11	139	△128	18	17	35	186	150	336	△168	△133	△301
その他	3	34	△31	2	2	4	36	10	46	△34	△8	△42
合計	296	440	△144	406	440	846	610	582	1,192	△204	△142	△346

注……後日総務庁統計局で公表する結果とは異なる場合があります。

「和泉の味」 料理コンクール 参加募集!

第2回
十一月二十二日まで

この度、村では特産品（
 穴馬スイートコーン、穴馬かぶ
 ら、昇竜まいたけ等）を使っ
 た料理、加工品のコンクール
 を昨年ひき続き開催する事
 になりました。

生産者又は消費者の方々が
 それぞれ、ご家庭にあつて創
 意工夫された和泉の味（特産
 品を使った料理）の作り方を
 広く募集し、この中から厳正
 審査して入選された料理、加
 工方法を、村の推奨料理とし
 て、一般の家庭、又は民宿等
 に普及、浸透させていきたい
 と思っております。どうぞ左
 記の募集要綱をごらんになり
 ふるってご参加ください。

募集要綱

応募期間

平成2年11月10日から11月
 22日まで（当日消印有効）

応募内容

(イ)調理部門と加工部門とす
 る。
 (ロ)料理材料は、和泉村の農

- 産物とする。
- (ハ)一般家庭において、手軽に調理できる経済的な料理であること。
- (ニ)なるべく多くの特産品を使い、特徴を上手に調理加工したもの。
- (ホ)和泉の味として独創性に富むもの。

審査

審査は第一次（書類選考）、第二次（調理審査）とし、

第一次審査は11月26日(月)、第二次審査は12月4日(火)とします。又、入選者には、最優秀賞、優秀賞、アイデア賞、和泉村長賞、奥越農業改良普及所長賞などが贈られます。

お問い合わせ、応募先
 和泉村役場産業課内
 「和泉の味」料理募集係
 TEL 七八―二二―一(代)

国際交流親善(フランス)参加者募集

村では、活力ある地域づく
 りの担い手にふさわしい、国
 際的視野をもった中堅青年を
 育成するとともに、育まれつつ
 あるシャンソンによる地域イメ
 ージをさらに向上させるため
 フランス共和国への派遣事業
 を実施します。

☆募集期間 11月20日(火)～30日(金)

☆訪問国 フランス共和国(パリ・リヨン・アヌシー)

☆実施時期 平成3年2月25日(月)～3月6日(水)

(水) 10日間

☆募集人員 15名
 ☆応募資格 18歳～45歳の村民の方、ただし、高校生・大学生を除く。
 ☆参加負担金 約一七〇、〇〇〇円(経費の3分の1)
 ☆研修内容▼訪問都市において、文化・産業等の事情研究や関連施設の視察研修

▼現地での交歓等
 申し込み先・お問い合わせ役場産業課まで
 ☎七八―二二―一

「有線放送施設整備工事」 来年四月一日開局目標に着工

有線放送施設整備工事が平成三年四月一日の開局を目標に、この九月二十五日に日本電信電話(株)福井設備建設センターと三千九十万円で契約、同日着工しました。

この有線放送は水力発電周辺地域交付金事業により、現在各家庭で利用されている電話回線の空き時間を利用して情報の提供をするものであります。

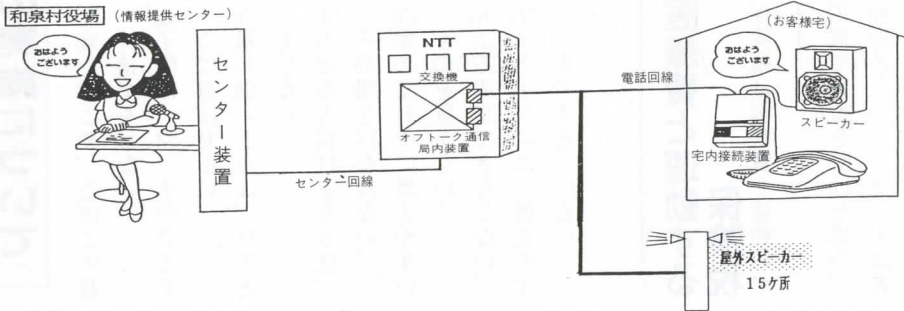
また、この内容は村内全域(二百九十二世帯)の家庭に受信設備と各地区の区長宅に着信用フアックスを設置、又各集落に緊急連絡用の屋外スピーカを設置します。そして役場より緊急連絡を主に行政案内・催事案内・各種情報の放送を予定しています。また利用料負担はありません。

「工事の協力依頼」

各家庭に有線放送受信スピーカ等の設置工事に工事業者(NTT)が事前連絡の上、訪問されますので御協力をお願いします。

なお、当工事は一般事業所等には対象となりませんので受信希望があれば役場総務課まで問い合わせ下さい。

和泉村有線放送システムの概要 和泉村全所帯(292世帯)



明るい家庭をつくるための講座開催 「幼児期からの性教育」

興味本位の性に関する情報があふれている現在、子供たちやその親が性について正しく理解し、しっかりと自分で考え判断してゆくことができるようになるための啓蒙活動として、また、性についてのさ

和泉村診療所長 平野治先生 厚生大臣表彰を受ける



十一月二日、厚生省において、平成二年度国民健康保険功績者として和泉村診療所長平野治先生が厚生大臣表彰を受けました。

平野先生は、昭和三十六年から現在まで診療所医師として地域の発展に寄与された功

まざまな問題や悩みなどについて語り合う場をつくることを目的として、今回、福井県高志福祉事務所の主催で次のとおり開催いたします。

とき：平成二年十一月十七日(土)
午後二時
ところ：和泉村社会福祉センター

参加費：無料
※申し込みは、役場住民課まで。

当日参加も観迎します。

自動車事故被害者に対する 「自動車の被害者に対する援護制度」

一、重度後遺障害に対する介護料の支給制度
イ、支給要件

自動車事故により脳損傷・脊髄損傷を生じ、常時介護を必要とする者(医師の証明等添付)
ロ、支給金額
入 院：一日につき四〇〇〇円
自宅療養：一日につき二、〇〇〇円

二、交通遺児等育成資金の貸付制度(無利息)
イ、貸付対象者
自動車事故により死亡又は重度後遺障害者となつた方の0才から中学校卒業までの子供さん本人
ロ、貸付金額
一時金(はじめに)三八、〇〇〇円
毎月(貸付期間中)二七、〇〇〇円
支度金(小・中学校)三八、〇〇〇円

ハ、利子
無利子

三、返還方法
学校卒業後二十年以内の均等分割又は一括返還(高校・大学等への進学者は卒業まで返還を猶予)

申し込み・問い合わせ先
千九一〇

福井市大手三丁目十一
一十七(県民会館四階)
政府出資法人(運輸省所管)
自動車事故対策センター福井支所 電話(三七七)三六〇六

平成二年 秋季火災予防運動の実施について

一、目的

火災が発生しやすい気候となる時季を迎えるに当たり、火災予防思想の一層の普及を図り、もって火災の発生を防止し、死傷事故や財産の損失を防ぐことを目的とする。

二、統一標語

『まず消そう 火への鈍感 無関心』

三、実施期間

平成二年十一月九日(金)から十一月十五日(木)まで

四、火の用心七つのポイント

- (1) 寝たばこや、たばこの投げ捨てをしない。
- (2) 子供は、マッチやライターで遊ばせない。
- (3) 風の強いときは、たき火をしない。
- (4) 天ぷらを揚げるときは、その場をはなれない。
- (5) 家のまわりに燃えやすいものを置かない。
- (6) ふろの空だきをしない。
- (7) ストープには、燃えやすいものを近づけない。

医療費のムダ使いは避けよう

このところ医療費は、毎年増え続けています。

医療費の増える原因には、高齢化社会の到来、それに伴う成人病など慢性疾患の増加、医療技術の高度化などがあります。保険税へのハネ返りを小さくするために、私たちも医療費節約に関心を持ち、少なくとも医療費のムダ使いになるような受診は避けるような心がけが必要です。

医療費と連動する 保険税

保険税は医療費と連動しています。

国保で診療を受けた場合、医療費の三〇パーセントは患者が負担し、残りの七〇パーセントは国保が負担します。この国保が負担する分の約半分は保険税をもって充てることになっていきます(残りの半分は国が負担)。

ですから、医療費が増える、それに応じて保険税も値

上げをして補うことになりま

国民年金の窓

平成三年四月

学生の私も 加入します。

学生のアナタ、国民年金に加入していますか?

現在、二十歳以上の学生の皆さんは、国民年金には任意加入となっているため、加入していない場合、万一、事故などのケガで障害者となったとき、年金の保障は、何もありません。

また、年金は二十歳から六十歳の四十年間きちんと保険料を納めて、満額の年金が受けられることとなっています。このため、平成三年四月からは、二十歳以上の学生の皆さんも国民年金の当然加入者

となり、年金が保障されることとなります。

来年四月には、お住いの市町村役場での加入手続きを、お忘れなく。

定期点検整備は、

ドライバーの マナーです!

ドライバーの皆さん、愛車は元気ですか。交通ルールを守った安全な運転をこころがけていますか。クルマを運転するドライバーにとって、年二回の定期点検でクルマの安全性を確認し、公害を防止するのは大切なことです。

クルマは家族と同じです。愛情がなければ、時には故障することだってあります。その、ちょっとしたトラブルが思わぬ大きな事故を招いてしまうこともあります。

クルマはドライバーの愛情で走ります。快適で安全なドライブを楽しむためにも、年二回のスキンスリップで愛車をやさしくいたわりましょう。

(注) バス・大型トラック等の定期点検は月一回です。

人のうごき(敬称略)
10月分届出分

▲おめでた

- | | | | |
|----|----|-------|--------|
| 名 | 前 | 保護者続柄 | 住所 |
| 尾崎 | 貴也 | 治和 | 長男 上大納 |
| 佐藤 | 太紀 | 雅敏 | 長男 朝日 |



たいき 太紀くん



たかや 貴也くん

きわやか 君

